

日本機能水学会第 18 回学術大会

テーマ：明日の暮らしに役立つ機能水

大会長挨拶

錦 善則

(デノラ・ペルメレック株式会社、日本機能水学会理事、日本医療・環境オゾン学会理事)

第 18 回目を迎える本大会は、2012 年より参画いたしております日本医療・環境オゾン学会に大会運営の委嘱があり、その分科会であるオゾン水研究会がお引き受けし、同オゾン学会事務局のある大阪にて開催することになりました。

機能水の多くは電解プロセスにより製造されています。電気エネルギーを用いて化学物質を生産する電気分解（電解）プロセスが実用化に至ったのは約 150 年前であり、日本がリードする大規模イオン交換膜型電解セル（数 10 ton/h）を用いて、国内塩素生産量は 350 万トン/年に達していて、その中で次亜塩素酸ソーダ生産量は 4%程度に相当します。また、薬剤としての供給が困難な地域では、より小規模の数 100g/h から数 10kg/h 規模の次亜塩素酸ソーダのオンサイト製造装置が利用され、上記と同程度の生産量があります。

さて、本学会に関連する数 10g/h 規模の小型オンサイト装置は、恐らく上記次亜塩素酸ソーダ製造の 1%に満たない生産量であると推察されますが、まだまだ社会に貢献できる余地があるといえます。その理由として、国内の電力源が原子力から再生可能エネルギーへと移り、電力の自由化が進行する中、住宅・地域規模での自立・分散型社会の確立が期待されています。また、大きな自然災害をいくつも経験したことで、危機的な状況においても衛生的・健康的な暮らしを守るには、従来のライフラインでは満足すべきでないことに気づきました。そして、快適な暮らしのために、身近な暮らしに潜んでいる環境問題・衛生的課題に対して提案される新しい装置・習慣・価値が、円滑に受容される時代が来ていると感じるからです。

本大会テーマとして「明日の暮らしに役立つ機能水」を掲げました。このような変遷を迎える社会において、利便性・安全性を担保した小型の機能水装置は、有望なビジネス素材であると位置付けることができます。日本を代表するビジネスの中心地・大阪で、機能水の活躍する豊かな未来を見出せるのではないのでしょうか。

本大会におきましてもこれまで同様に、各種産業・医療分野において活躍されている会員各位より、有益かつ実践的な報告のあることを大いに期待しております。

最後になりましたが、この紙面を借りまして、大阪での本大会準備委員長をご快諾いただいた摂南大学名誉教授（日本医療・環境オゾン学会副会長）の中室克彦先生、本学会吉川敏一理事長、菊地憲次副理事長、堀田国元事務局長、大会事務局担当の中藤誉子氏に謝意を表します。

大会概要

テーマ：明日の暮らしに役立つ機能水

大会長：錦 善則 博士 (デノラ・ペルメック株式会社)

会 期：2019年9月27～29日(金～日)

27日 市民公開講座(参加費無料)、28～29日 学術セッション、27～29日 展示

会 場：大阪工業大学梅田キャンパス OIT タワー(3階) 常翔ホール(576席)

大阪市北区茶屋町 1-45 TEL: 06-6147-9015 <http://www.oit.ac.jp/institution/>

主 催：日本機能水学会

共 催：(一財)機能水研究振興財団、日本医療・環境オゾン学会

後 援：アルカリイオン整水器協議会、微酸性電解水協議会、ウォーター研究会

協 力：(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター、日本口腔機能水学会

協 賛：電気化学会電解科学技術委員会、三遠南信水機能活用研究会

参加費：会員 8,000円(事前 6,000円)、非会員 12,000円(事前 10,000円)、学生 3,000円(事前 2,000円)

技術交流会：9月28日(土)、レストランテ翔21(OITタワー21階) 6,000円(事前 4,000円)

組織委員会：錦善則(委員長)、中室克彦、吉川敏一、菊地憲次、堀田国元、古米保、佐藤勉、岸本武利、中野隆史、丹波章滂、上原健裕、初澤明博、李新武、Y-C Hung

プログラム委員会：菊地憲次(委員長)、錦善則、堀田国元、早川享志、岩澤篤郎、宮下公一、鈴木鐵也、田中喜典、高木弘隆、荒川真一、佐藤勉、内藤博敬、霧知光

実行委員会：堀田国元(委員長)、中藤誉子、本間茂、福島宏和、齋藤典子、土崎尚史、恒川良太郎、廣中伸治、三好一眞、田中喜典、木下清、王艶紅、両角久、田中賢治、岩佐氏智、堀晋司、田原周夫、前井孝夫、松永芳明、粕谷勇、田中亨

準備委員会：中室克彦(委員長; 摂南大学名誉教授)、錦善則、田中喜典、才原康弘、藤原功一、辰巳英三、堀田国元、中藤誉子

大会事務局：日本機能水学会事務局(担当:中藤誉子・堀田国元)

TEL 03-3495-0251 E-mail: kinousui-gakkai@fwf.or.jp HP: <http://www.fwf.or.jp/gakkai.html>

展 示：常翔ホール会議室 301号室

アクアシステム(株)、石福金属興業(株)、オゾン水研究会、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)、柴田科学(株)、(株)日本トリム



プログラム

プログラム

第1日：9月28日(土)、学術講演、技術交流会

9:00～9:15 開会式 あいさつ

錦 善則 第38回学術大会大会長

吉川敏一 日本機能水学会理事長

9:15～9:55 大会長講演 座長：吉川敏一((公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

電解プロセスとしての機能水への期待

錦 善則(デノラ・ペルメック株、日本機能水学会・日本医療・環境オゾン学会理事)

9:55～11:00 セッション1. 機能水をめぐる課題と関連団体の取組みと展望1

座長：堀田国元((一財)機能水研究振興財団)

9:55 1. 趣旨説明

堀田国元(機能水研究振興財団)

10:00 2. HACCP法の施行までの最新動向と酸性電解水への期待

丹波章彬(機能水研究振興財団・微酸性電解水協議会)

10:15 3. 日本電解水協会の活動と今後の課題について

田中賢治((一社)日本電解水協会)

10:30 4. 機能水による消化器内視鏡洗浄消毒の在り方に関する調査研究委員会

岩澤篤郎(東京医療保健大学大学院医療保健学研究科)

10:45 5. アルカリイオン整水器協議会の課題と展望

堀 晋司(アルカリイオン整水器協議会)

11:00～11:15 休憩

11:15～11:40 展示ブリーフィング 座長：才原康弘((公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

アクアシステム株、オゾン水研究会、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株、

石福金属興業株、柴田科学株、株日本トリム

11:40～13:00 昼休み

13:00～14:40 セッション2(国際)：電解水の評価

座長：鈴木鐵也(クイーンズランド大学)、Y-C Hung (Univ. Georgia)

13:00 6. Meta-analysis: A tool to compare the effectiveness of different electrolyzed water studies

Yen-Con Hung and George Kwabena Afaria (Univ. Georgia, USA)

13:30 7. Recent standardization progress of AEW in China

Li, Xin-wu (IEHS, China CDC)

14:00 8. Research progress on slightly acidic electrolyzed water in Zhejiang University

○Zhangying Ye, Xiaoling Huang & Songming Zhu (Zhejiang University, China)

14:20 9. Sterilization mechanism of slightly acidic electrolyzed water on *Aeromonas hydrophila* and anti-infection effects on tilapia

○Xiaoling Huang, Shuo Wang, Weishan Gao, Songjian Nan, Songming Zhu, Jinsong He, Xiaoling Huang & Dezhao Liu (Zhejiang University, China)

14:40～14:50 休憩

14:50～16:20 セッション3. 一般演題 座長：今田千秋(東京海洋大学)、紙谷喜則(鹿児島大学)

14:50 10. 食品産業における電解水の利用に関して

○澁谷萌衣、田添英理、長濱綾音、廣島誠浩、紙谷喜則
(鹿児島大学大学院農学研究科)

- 15:05 11. 水の電気処理による表面張力変化の検討
○廣島誠浩、田添英理、澁谷萌衣、長濱綾音、紙谷喜則
(鹿児島大学大学院農林水産学研究科)
- 15:20 12. アルカリ性電解水による抗酸化作用増強効果の阻害要因の検討
○田添英理、澁谷萌衣、長濱綾音、廣島誠浩、紙谷喜則
(鹿児島大学農学研究科生物環境学専攻)
- 15:35 13. 機能水の各種活性評価の展望—海洋深層水活性評価方法の応用
○今田千秋¹、山田勝久^{1,2}、野村道康²
(¹東京海洋大学, ²株ディーエイチシー)
- 15:50 14. 電解酸性機能水を用いた、肺炎予防法の検討
○西尾健介¹ 及川大智¹ 浅野正岳²
(¹日本大学歯学部歯科補綴学第I講座 ²日本大学歯学部病理学講座)
- 16:05 15. 白金パラジウムによる胃がん抑制効果の可能性
○川上智史^{1,2}、佐藤勉³、寺山隼人³、坂部貢³
(¹東海大学医学部看護学科、²東北大学大学院歯学研究科口腔器官構造学分野、³東海大学医学部医学科生体構造機能学領域)

16:20～16:25 休憩

- 16:25～17:05 **セッション4. ファインバブル水** 座長：錦善則(デノラ・ペルメレック株)
16. **招待講演** ファインバブル水の進歩～研究開発技術、技術開発動向、国際標準化の進展～
矢部 彰 先生 (産業技術総合研究所 特別顧問 名誉リサーチャー & NEDO)

- 17:05～18:05 **セッション5. オゾン水(日本医療・環境オゾン学会)**
座長：内藤博敬(静岡県立大学)

- 17:05 17. 低濃度オゾン水の野菜栽培への応用利用
加藤一幾 (東北大学大学院農学研究科)
- 17:25 18. 乾物食品の水戻しにオゾン水を用いた場合の効果検証
○齋藤未菜美ほか 静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科
- 17:45 19. オゾン水の直接的および間接的抗腫瘍効果
○岡本芳晴、黒田晃平、山下真路、東 和生、村端悠介、柄 武志、今川智敬、
大崎智弘、伊藤典彦 (鳥取大学農学部)

18:30～ **技術交流懇話会** リストランテ常翔(OITタワー21階)

第2日：9月29日(日) 学術講演

- 9:00～9:55 **セッション6. 飲用機能水(アルカリイオン水、水素水)**
座長：早川享志(岐阜大学)、田中喜典(パナソニック株)
- 9:00 20. アルカリイオン水の飲用が腸内細菌叢、および便性状に及ぼす影響
○木内政孝¹、田中喜典²、東村泰希³、馬場保徳³、内藤裕二⁴、小山勝弘¹
(¹山梨大学、²パナソニックアプライアンス社、³石川県立大生物資源環境学部、生物資源工学研究所、⁴京都府立医大)
- 9:18 21. アルカリイオン水と水素水の生体内抗酸化効果におけるニッケルの関与と腸内細菌叢への試験水の影響
○早川享志^{1,2}、加藤尚之¹、福山遥菜²、江藤慎一¹、稲垣瑞穂^{1,2}、中村浩平^{1,2}、
鈴木徹^{1,2}、島田昌也^{1,2}、中川智行^{1,2}
(¹岐阜大学大学院自然科学技術研究科、²岐阜大学応用生物科学部)

- 9:36 22. 骨組織リモデリングにおける溶存水素の影響
○高橋玲^{1,2}、生天目香月¹、満田ゆかり¹、稲垣都子¹、井上沙奈^{1,2}
(¹同志社女子大学薬学部医療薬学科、²同志社女子大学大学院薬学研究科)
- 9:55～11:35 **セッション7. 新技術 (ウォーター研究会第77回セミナー)**
座長: 菊地憲次(レイ・パストゥール医学研究センター)
- 9:55 23. **教育講演 1: ダイヤモンド電極の機能と応用**
栄長泰明 先生(慶應義塾大学理工学部・JST-ACCEL)
- 10:25 24. **ダイヤモンド電極を用いた微量サンプリング残留塩素濃度モニターの開発**
○宮村和宏¹、小早川弘志¹、高木想¹、栄長泰明²
(¹榊原アトバンスドテクノ、²慶應義塾大学 理工学部)
- 10:45 25. 「オゾンウォーター」デバイスの開発とオゾン水の効果
○稲垣賢一郎¹、森俊輔¹、平野基文¹、向本雅都²
(¹パナソニック(株)アプライアンス社、²大阪府立大学・院 生命環境科学研究科)
- 11:05 26～28 **新型内視鏡洗浄消毒器**
- 11:05 26. オゾン水内視鏡洗浄消毒機 OED-1000S Plus について
○三好一真, 高橋康廣, 廣中伸治 (株)IHIアグリテック 環境プロジェクト部
- 11:15 27. 有効塩素濃度(FRCC)自動モニタリング機能付き「CLEANTOP KD-1」について
○松永芳明、粕谷勇 (カイゲンファーマ(株)商品企画部医療マーケティンググループ)
- 11:25 28. 自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍 II G」について
友岡 仁 (興研株式会社 ハイジニック器機デバイス)
- 11:35～13:00 **昼休み**
- 13:00～14:20 **セッション8. 消毒・殺菌を考える(機能水研究振興財団令和元年度研修会)**
座長: 岩澤篤郎(東京医療保健大学大学院)
- 13:00 29. **教育講演 2: 消毒・不活性化の研究からみるウイルスの生存戦略**
高木弘隆 先生 (国立感染症研究所バイオセーフティ管理室)
- 13:30～14:20 **次亜塩素酸水の使用方法**
- 13:30 30. 強酸性次亜塩素酸水 両角 久(機能水研究振興財団機能水工業部会・コスモテクノ(株))
- 13:40 31. 弱酸性次亜塩素酸水の使用法 吉田恭一郎(日本電解水協会・ホシザキ(株))
- 13:50 32. 塩酸のみを原料とする微酸性次亜塩素酸水 岩佐氏智(森永乳業(株))
- 14:00 33. 塩酸/NaClを原料とした微酸性次亜塩素酸水 恒川良太郎(株OSG コーポレーション)
- 14:10 34. 電解次亜水 前井孝夫(リビングテクノロジー(株))
- 14:20～14:35 **休憩**
- 14:35～16:20 **セッション9. 機能水をめぐる課題と関連団体の取組みと展望 2**
座長: 本間茂・堀田国元(機能水研究振興財団)
- 14:35 35. **教育講演 3: JIS B 8701 をめぐる新提案 ～プライベート支援サービスのご紹介**
浅井秀一先生 (JQA: 日本品質保証機構)
- 15:05 36. (公財)レイ・パストゥール医学研究センターの取組み
菊地憲次 (レイ・パストゥール医学研究センター)
- 15:20 37. 機能水研究振興財団の課題と取組み・展望 堀田国元 (機能水研究振興財団)
- 15:35 38. 三遠南信水機能活用研究会の課題と取組み 宮下公一 (三遠南信水機能活用研究会)
- 15:50 39. オゾン水に関する最近の取組みと展望 内藤博敬 (日本医療・環境オゾン学会)
- 16:05 40. 日本口腔機能水学会の課題と取組み・展望 佐藤 勉 (日本口腔機能水学会)
- 16:20 **閉会式 あいさつ: 錦善則大会長、日本機能水学会副理事長、次期大会長**

The 18th (2019) Annual Meeting of the Japanese Society for Functional Water

Date: Sep. 28 (Sat) - 29 (Sun), 2019

Venue: Josho Hall, OIT tower 3F, Osaka Institute of Technology, Osaka, Japan

President: Dr. Yoshinori NISHIKI (De Nora Permelec Ltd)

PROGRAM

Sep. 28 (Sat)

9:00~9:15

Opening Address

Y. Nishiki (President, The 18th Annual Meeting of the Japanese Society for Functional Water)

T. Yoshikawa (President, The Japanese Society for Functional Water)

9:15~9:55

Presidential Address

Y. Nishiki

9:55~11:00

Session 1. Agenda concerning functional water and activities & prospects of functional water related organizations 1

9:55- 10:00

1. Introductory Remarks

K. Hotta (Functional Water Foundation)

10:00- 10:15

2. Current trends in the enforcement of HACCP law and expectation of acidic electrolyzed water

A. Tanba (Functional Water Foundation & Slightly Acidic Electrolyzed Water Conference)

10:15- 10:30

3. About outline and future activities of Japan Electrolyzed Water Association

K. Tanaka (Japan Electrolyzed Water Association (JEWA))

10:30- 10:45

4. Investigation Committee for flexible gastrointestinal endoscope reprocessor by functional water

A. Iwasawa (Division of Infection Prevention and Control, Tokyo Healthcare University)

10:45- 11:00

5. Agenda, activities and prospect of Association of Alkaline Ionized Water

S. Hori (Association of Alkaline Ionized Water)

11:00~11:15

Break

11:15~11:40

Exhibitor's Briefing

11:40~13:00

Lunch

13:00~14:40

Session 2. International Contribution: Evaluation of Functional Waters

13:00- 13:30

6. Meta-analysis: A tool to compare the effectiveness of different electrolyzed water studies

Y- C Hung and George Kwabena Afaria (Univ. Georgia, USA)

13:30- 14:00

7. Recent standardization progress of AEW in China

Li, Xin-wu (IEHS, China CDC)

14:00- 14:20

8. Research progress on slightly acidic electrolyzed water in Zhejiang University

○Zhangying Ye, Xiaoling Huang & Songming Zhu (Zhejiang University, China)

14:20- 14:40

9. Sterilization mechanism of slightly acidic electrolyzed water on *Aeromonas hydrophila* and anti-infection effects on tilapia

○Xiaoling Huang, Shuo Wang, Weishan Gao, Songjian Nan, Songming Zhu, Jinsong He, Xiaoling Huang & Dezhao Liu (Zhejiang University, China)

14:40~14:50

Break

14:50~16:10 Session 3. Submitting Contributions

- 14:50- 15:05 10. Actual condition for using electrolyzed water in Food Industry
○M. Shibuya, E. Tazoe, A. Nagahama, M. Hiroshima and Y. Kamitani
(Kagoshima University)
- 15:05- 15:20 11. Verification of the surface tension change for electrolysis of water
○M. Hiroshima, E. Tazoe, M. Shibuya, A. Nagahama and Y. Kamitani
(Kagoshima University)
- 15:20- 15:35 12 Exploring factors for the enhancement effect of AIEW on the antioxidant action
○E. Tazoe, M. Shibuya, A. Nagashima, M. Hiroshima and Y. Kamitani
(Kagoshima University Graduate Schools of Agriculture)
- 15:35- 15:50 13. Activity estimation method of deep seawater and it's future application to functional waters
○C. Imada, K. Yamada^{1,2} and M. Nomura².
(¹Tokyo Univ. Mar. Sci. Tech, and ²DHC Co.)
- 15:50- 16:05 14. Examination of a pneumonia prevention method using acid-electrolyzed functional water
○K. Nishio, D. Oikawa¹, and M. Asano²
¹Department of Complete Denture Prosthodontics, Nihon University School of Dentistry & ²Department of Pathology, Nihon University School of Dentistry
- 16:05- 16:20 15. Possibility of stomach cancer suppression effect by platinum & palladium colloid
○Satoshi Kawakami^{1,2}, Tsutomu Sato³, Hayato Terayama³, Kou Sakabe³
(¹ Faculty of Nursing, Tokai University School of Medicine, ² Oral and Craniofacial Anatomy, Tohoku University, ³Department of Anatomy, Division of Basic Medicine, Tokai University School of Medicine)

16:20~16:25 Break

16:25~17:05 Session 4. Fine Bubble Water

16. **Invited Lecture:** Progress in fine bubble water technology
Akira Yabe (Advanced Industrial Science and Technology & NEDO)

17:05~18:05 Session 5. Ozonated Water (Japan Society for the Medical & Hygienic Use of Ozone)

- 17:05- 17:25 17. Application use of ozonated water at low concentration in cultivation of vegetable crops
K. Kato (Graduate School of Agriculture Science, Tohoku University)
- 17:25- 17:45 18. Verification of the effect of using ozonated water for soaking dry food
○M. Saito, H. Naitou, Y. Tani (University of Shizuoka)
- 17:45- 18:05 19. Direct and indirect antitumor effects of ozonated water
○Y. Okamoto, K. Kuroda, S. Yamashita, K. Azuma, Y. Murahata, T. Tsuka,
T. Imagawa, T. Osaki and N. Ito (Faculty of Agriculture, Tottori University)

18:30~ Technological Information Exchange and Mixer (Ristrante Sho21)

Sep. 29 (Sun)

9:00~9:55 Session 6. Potable Functional Water (Alkaline ionized water, Hydrogen water)

- 9:00- 9:18 20. Effects of alkaline electrolyzed water on intestinal environment and stool characteristics in human.
○M. Kiuchi¹, Y. Tanaka², Y. Higashimura³, Y. Baba³, Y. Naito⁴, K. Koyama¹
(¹ University of Yamanashi, ² Appliances Company, Panasonic Corporation

³ Ishikawa Prefectural University, ⁴ Kyoto Prefectural University of Medicine)

- 9:18- 9:36 21. Involvement of nickel in diet in the *in vivo* anti-oxidative effect of alkaline-electrolyzed water and hydrogenated water, and effect of these test waters on intestinal microbiota
○T. Hayakaw^{1,2}, N. Kato¹, H. Fukuyama², S. Eto¹, M. Inagaki^{1,2}, K. Nakamura^{1,2},
T. Suzuki^{1,2}, M. Shimada^{1,2}, T. Nakagawa^{1,2}
(¹ Graduate School of Nat. Sci. Technol., Gifu Univ., ² Faculty of Appl. Biol. Sci.,
Gifu Univ)
- 9:36- 9:54 22. Effects of dissolved hydrogen in bone remodeling
○R. Takahashi ^{1,2}, K. Nabatame¹, Y. Mitsuda¹, M. Inagaki¹, S. Inoue^{1,2}
(¹ Faculty of Pharmaceutical Sciences, ² Graduate School of Pharmaceutical
Sciences, Doshisha Women's College of Liberal Arts)
- 9:55~11:35 Session 7. New Technology (The 77th seminar, Japanese Society for Water Research)**
- 9:55- 10:25 23. **Lecture 1:** Development of electrochemical application of boron-doped diamond electrodes
Yasuaki Einaga (Department of Chemistry, Keio University)
- 10:25- 10:45 24. Development of micro sampling residual chlorine monitor using boron-doped diamond
electrode
○K. Miyamura¹, H. Kobayakawa¹, S. Tatagi¹ and Y. Einaga²
(¹ HORIBA Advanced Techno, Co., Ltd., & ² Keio University)
- 10:45- 11:05 25. Development of ozonated water generating device and effect of ozonated water
○K. Inagaki¹, S. Mori¹, M. Hirano¹, M. Mukamoto²
(¹Appliances Company, Panasonic Corporation, ²Graduate School of Life and
Environmental Sciences, Osaka)
- 11:05~11:35 **Development of New Endoscope Repressors using functional water**
- 11:05- 11:15 26. OED-1000S Plus, an advanced endoscope disinfection machine using ozone water
○K. Miyoshi, Y. Takahashi and N. Hironaka
(IHI Agri-Tech Corporation Environmental Equipment Project Division)
- 11:15- 11:25 27. CLEANTOP KD-1 with automatic free radical chlorine concentration monitoring function
○Y. Matsunaga and Y. Kasuya (Kaigen Pharma Co., Ltd. Planning Dept.)
- 11:25- 11:35 28. “Kagami-Naishi II G”: Endoscope Washer/Disinfector with Automatic Brushing Feature
M. Tomooka (Hygienic Instrument Division. Koken Ltd.)
- 11:35~13:00 Lunch**
- 13:00~14:20 Session 8. Discussion on disinfection &. decontamination using functional water**
- 13:00- 13:30 29. **Lecture 2:** Survival strategy of virus based on a review of disinfection/inactivation researches
H. Takagi (National Institute of Infectious Diseases, Division of Biosafety Control and Research)
- 13:30- 14:20 Remarks on hypochlorous acid waters and their use
- 13:30- 13:40 30. Strongly acidic hypochlorous acid water
H. Morozumi (Industrial Div., Functional Water Foundation & Cosmo Techno)
- 13:40- 13:50 31. Weakly acidic hypochlorous acid water
K. Yoshida (Hoshizaki corporation)
- 13:50- 14:00 32. Slightly acidic hypochlorous acid water made from diluted HCl
U. Iwasa (Morinaga Milk)
- 14:00- 14:10 33. Slightly acidic hypochlorous acid water made from HCl/NaCl
R. Tsunekawa (OSG corporation)

14:10- 14:20 34. Electrolytically generated hypochlorite water
T. Maei (Living Technology)

14:20~14:35 Break

14:35~16:20 Session 9. Agenda concerning functional water and activities & prospects of functional water related organizations 2

14:35- 15:05 35. **Lecture 3:** A new proposal concerning JIS B 8701
S. Asai (JQA: Japan Quality Assurance Organization)

15:05- 15:20 36. Activities and prospects of Functional Water lab., Louis Pasteur Medical Research Center
K. Kikuchi (Functional Water lab., Louis Pasteur Medical Research Center)

15:20- 15:35 37. Agenda, activities and prospects of Functional Water Foundation
K. Hotta and T. Nakato (Functional Water Foundation)

15:35- 15:50 38. Activities and Prospect of San-En-Nanshin Research Society for Application of Water Function
K. Miyashita (San-En-Nanshin Research Society for Application of Water Function)

15:50- 16:05 39. Recent efforts and prospects for ozonated water
H. Naitou, Y. Nishiki and K. Nakamuro
(Japan Society for Medical and Hygienic Use of Ozone / Environmental Application Subcommittee)

16:05- 16:20 40. Activities and prospects of the Japan Society for Oral Functional Water
T. Sato (The Japan Society for Oral Functional Water)

16:20~16:30 Closing Remarks: President of the 18th Annual Meeting of JSFW, Dr. Yoshinori NISHIKI,
Elect President of JSFW
Elect President for the next annual meeting